



森と海の自然科活動案内 テーマ「里川」 2021年12月9日

木津川沿い山背古道散策 ②（上狛～棚倉）

観察河川：上狛環濠、鳴子川、萩の谷川、不動川

淀川水系の木津川流域を南から北へ木津川右岸に沿う山背古道散策その2です。

今回は山背古道①で解散した駅、上狛駅から棚倉駅まで歩きます。

前回実現しなかったお茶の資料館見学と古代史で有名な椿井大塚山古墳、天下の奇祭「音無の祭」の湧出宮見聞がメインです。三角縁神獣鏡32面と画文帯神獣鏡などのレプリカ展示も見学します
＜担当Bグループ浅野＞

1：日 時 2021年12月16日（木） 10時30分 中止の場合は前夜メールします

2：集 合 JR 上狛駅 前回①で解散した駅です トイレは改札内にあります

3：持ち物 弁当、飲み物、雨具、双眼鏡 等

4：目的地 福寿園資料館、椿井大塚山古墳、和伎坐天乃夫支売神社、谷山不動尊

5：行 程 基本コース約8km 短縮コース約5km

10：30 JR 上狛駅 スタート 西へ 左折して山背古道を南へ 0.6km

10：40 福寿園資料館（2班に分かれて玉露喫茶&資料館見学）11：40 発 0.3km

11：45 木津川市山城支所別館（トイレ） 11：50 発 0.3km

11：55 なでしこ公園（トイレ） 上狛環濠集落の北側の環濠確認 12：00 発 0.3km

12：05 椿井南公園（トイレ無し） 通過 12：05 発 1.0km

12：20 椿井大塚山古墳（メモ参照）《弁当》12：40 発 0.7km

12：50 春日神社 12：55 発 0.2km

13：00 水害記念碑石碑 13：05 発 0.1km

13：10 鳴子橋（鳴子川を渡る） 13：15 発 （途中で萩の谷川を経由） 0.9km

13：30 JR 棚倉駅（トイレ） 13：35 発 0.1km

13：40 和伎坐天乃夫支売神社（湧出宮）（メモ参照）13：50 発 不動川沿いに上流へ 1.2km

14：10 谷山不動尊（摩崖仏）（メモ参照） 14：30 発 不動川沿いに戻る 0.6km

14：40 不動川公園（トイレ） 14：50 発 1.1km

15：10 アスピアやましろ（山城総合文化C）で三角縁神獣鏡鑑賞 15：30 発 0.5km

15：40 JR 棚倉駅 基本コース解散 棚倉駅発 奈良方面15：46 発 京都方面15：56 発（ホーム注意）

短縮コース

13：40 和伎坐天乃夫支売神社（湧出宮）（メモ参照） 13：50 発 0.1km

13：55 JR 棚倉駅で 短縮コース解散 棚倉駅発 奈良方面14：16 発 京都方面13：56 発（ホーム注意）

〈上狛～棚倉 : 見どころミニガイド〉 (木津川市資料他より)

○山城茶業之碑：茶問屋ストリート約 30 軒（最盛期 100 軒茶問屋 茶の輸出港：東神戸）

中国から伝来した茶は室町時代に山城各地で栽培され、やがて近江大和伊賀伊勢へと伝播しました。江戸時代末の神戸港開港（慶応 3 年 1868）によって山城宇治茶の輸出は急激に増加、各地から集められた茶葉は上狛で加工され上狛浜から木津川・淀川を経て神戸港から輸出、上狛茶問屋街は東神戸・今神戸と呼ばれ繁栄しました。（前回 11/25 見学済み）

○福寿園資料館（玉露喫茶とセット：入館料¥500） 玉露喫茶と資料見学を 2 班に分けて実施予定

○狛才天社&玉台寺：11/25 拝観済み今回パス（紅葉と赤い実の樹木が見ごろでした）

狛才天社は狛一族の守護として 狛但馬守頼久（こまたじまかみたよひさ）によって永享 9 年（1437 年）に建てられたと伝えられています。狛の狛天さんとして長く親しまれてきた木造狛才天坐像は、天正 6 年（1578 年）に奈良の仏師によって造立されたそうです。奈良興福寺の宮寺で本尊は観世音菩薩です。椿、水仙、梅、サンシュ、木蓮、桜、サクラソウ、どうだんつつじ、山吹、山つつじ、芍薬、花ミズキ、百日紅、寒あやめ、梅、桜、椿など四季折々に花が次々咲きます。

○松尾神社：11/25 拝観済み今回パス

創建は大宝元年（701）といわれています。近世以前は御霊神社が「上の宮」と呼ばれていたのに対し、当社は「下の宮」とよばれ、椿井から上狛にかけての人々の信仰を集めてきました。月読尊（つくよみのみこと）を祀った本殿は、文化五年（1808）に奈良春日社若宮本殿を移築したものです。向かって右には牛頭天王を祀った御霊神社の本殿があります。拝殿・表門・境内社御霊神社本殿（桃山・江戸時代）は京都府登録文化財です。

松尾神社の東方から南方にかけて起伏する一帯は、小型古墳群が散在しています。

松尾神社の参道が敷設されたところは、松尾古墳群です。

○椿井大塚山古墳：

古墳時代前期（三世紀後半）の中でも最古に位置づけられる代表的な**前方後円墳**です。昭和 28 年、古墳の後円部を南北に走る国鉄奈良線（現 JR 奈良線）の法面拡幅工事が行われた際、竪穴式石室が発見されました。発掘調査で、石室内から、邪馬台国の女王卑弥呼の鏡とも呼ばれる「**三角縁神獣鏡**（さんかくぶちしんじゅうきょう）」32 面を含む 40 面近い銅鏡や多くの副葬品が出土し、全国的に大きな注目を集めました。三角縁神獣鏡は中国魏時代の船載鏡で、これと同范の鏡が各地の古墳から出土、この古墳の被葬者は大和王権の有力者と推定されています。この発見から半世紀、平成 12 年には、日本の歴史上の重要な文化財として、**国史跡**に指定されました。

「アスピーアやましろ」（棚倉駅近く）に「三角縁神獣鏡」のレプリカが展示されています。今回のコース最後に鑑賞します。一見の価値あり

○和伎座天乃夫岐売神社 わきにますあめのふきめじんじや（湧出宮わきでのみや）：

祭神は天乃夫岐売命あめのふきめのみこと、市杵島比め命いちきしまひめのみこと、田凝比め命たごりひめのみこと（比め のめはいずれも 口編に羊）

創建は天平神護二年（766）、伊勢国渡会（わたらい）郡五十鈴川舟ヶ原より、天乃夫岐売神（あめのふきめのかみ）を勧請（かんじょう）したのが起こりとされています。一夜にして湧出した森のなかにあるとの伝承から湧出宮と称するようになったという。天乃夫岐売命は祈雨の神として信仰され、山城の国祈雨十一社の一社として崇拝されてきました。貞観元年（859）清和天皇が降雨を祈る使いを遣わしています。中世以来続く**湧出宮宮座行事**は古風な儀礼をよく保存しており昭和 60 年に国指定**重要無形民俗文化財**に指定されています。2 月 15 日から 3 日間の「**居籠（いごもり）祭**」は天下の奇祭として有名。祭日の間、氏子は物音をたてずに齋み籠ることから「**音無しの祭**」とも言われ、精華町の祝園神社と同じく崇神天皇に討たれた**武埴安彦**の霊を慰めるために始まったと伝える。大蛇（水神）の霊を慰めるためという説もある。室町期の農耕儀礼を伝えており、豊作祈願・春を呼び幸せを招く祭りと

して信仰を集めています。祭は神社での神事と氏子の3日間の居（斎）籠からなり、神社ではお田植・お神酒だし・お膳だし・大松明などの行事が古式豊に行われます。

本殿（元禄5年（1692）造立）は三間社流造。本殿前の左右に南北朝時代の四角形石灯籠がある。本殿と拝殿は府登録有形文化財、本殿棟札12枚は府登録有形文化財です。日当り・風通しがよく、清水が豊富な環境に育つというイチイガシの古大木に包まれている鎮守の杜を中心に、境内地全体が府の「文化財環境保全地区」に指定されています。

また、湧出宮一帯は湧出宮遺跡と称される弥生時代中期の集落遺跡で、境内から弥生時代の土器・石器が出土し、竪穴式住居跡も確認されています。

○谷山不動尊（摩崖仏）：谷山不動宝山寺

湧出宮の少し北を流れる不動川を東へ1kmほどさかのぼる。不動明王、地藏菩薩、十一面観音の3体からなる摩崖仏。不動明王は鎌倉時代後期、ほかの2体は室町時代のもの。

（以下グーグルマップのクチコミより引用）

真言宗智山派光明山谷山宝山寺。長い石段を登った所に少し広がった場所がある。その場所の一段高いところに覆堂があり中に不動摩崖仏が在る。

この不動尊については情報があまりなく、古い文章だが、川勝政太郎氏（石造美術研究家 1905年～1978年）、考古学者、美術史家、文学博士）が谷山不動尊について書かれた一文を以下に引用。

「十輪寺から東北に、谷川に沿って上る道があり、見事な筍林を眺めながら約500mも進んだ、山腹に、大きな岩石が露出していて、不動明王をはじめ、十一面観音、地藏菩薩などの摩崖仏がある。不動摩崖仏は少し高いところにあり、石段を登っていくと、覆堂を設けていて、奥の岩の表面には舟形光背を彫くぼめ、像高一・二六mの不動座像を半肉彫りしている。不動象は目を天地眼にし、右手に太い剣を握り、左手は外に張って羅索を握る。怒りの表情をよくあらわし、力のこもった表現も巧みで、裳を垂れた瑟瑟座も技巧的で鎌倉後期の造立であろう。

不動摩崖仏の下方の岩はだ、にも蓮華座に立つ像高一・二mの地藏摩崖仏があり、これには室町後期の永生十年（一五一三）の像立銘がある。また、像高七八cmの十一面観音摩崖仏もあり、この石仏も地藏摩崖仏と同じ時期に像立されたものであろう。この谷山は不動摩崖仏を主尊とした密教僧侶の行場であったと思われる。不動明王は大日如来の使者とされているが、仏法の守護神であり、真言行者の行場によくまつられ、その憤怒の形相で容易に教化しない衆生を導き、煩惱をはらい、火生三昧にはいって信仰の心を動揺しないよう願うと言われる。その周囲に、この無仏五濁の世にあらわれ、六道衆生を導き救済するという地藏菩薩と、大慈悲をもって衆生の現生利益をもたらす観音菩薩を配して、多くの信者に拝まれてきたことであろう。

「川勝政太郎」

石造美術の分野での業績は偉大で、「石造美術」の語も川勝が初めて唱えたとされ、今なお川勝を師として仰ぐ石造美術研究者は多い。主宰する史迹美術同友会の会誌『史迹と美術』を拠点に多くの研究を発表するとともに、川勝の薫陶を受けた研究者たちが国内各地にある優れた石造美術を発見し世に送り出した。現在、多くの石造美術が国の重要文化財の指定を受けているがそのほとんどに川勝が関与しており、その足跡の大きさを知ることができる。by Wiki

○ 不動川砂防歴史公園 谷山不動尊から車道1.2kmあるので今回はパス

明治6年に政府の招きにより来日し、日本の治水事業発展の基礎を築いたオランダ人技師 ヨハネス・デ・レーケによりヨーロッパ式の近代砂防技術が日本に初めて導入された記念すべき地。日本最古の石積堰堤8基が府指定文化財。デレーケの銅像あり。

トイレはあるが公園全体の管理は不十分らしい

以上